長期成長戦略

前提となる事業環境予想

国内

- 蒸気ボイラ市場は緩やかに縮小(2030年度以降加速) 人口減少やCO2排出量削減の大きな流れにより、主力の 蒸気ボイラ市場の縮小が懸念されるが、他メーカーとの差 別化を図った提案により市場は引き続き2025年度までは 安定した販売需要の創造が見込まれる。
- 低炭素がメインストーリー(急速な脱炭素化はない) 2025年度までにCO2排出ゼロの水素などの燃料に完全 に切り替わることは予想されず、周辺機器を含めての提案 が不可欠な環境へと進むと期待される。

海外

- 各国での政策の違いがあり、各様の市場変化 他メーカーの経営環境は厳しい。 新燃料対応技術力の必要性向上。
- 各国のエネルギー事情に応じた脱炭素への取り組み カーボンニュートラルに対する活動の地域差拡大。

基本方針

グループ総合力を活かしたトータルソリューションの進化 ~お客様とのさらなる信頼関係の強化、つながりの広がりをめざして~

長期視点でのKPI

ROE 10%以上

重点課題

主な取り組み

カーボンニュートラル

お客様の既存設備の活用とエネルギー転換の速度 とのバランスを取りながら広角度での環境対応

- 補助金を活用しつつ、 最適なエネルギーミックスの提案
- 産官学での新燃料関連製品・ システムの共同開発

グローバル化

業界戦略の推進と多国籍企業の攻略 カーボンニュートラルを意識した欧州等の空白地 への拠点展開

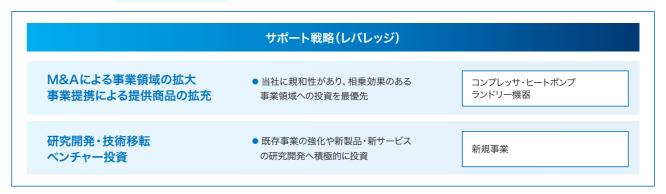
- 進出市場での日誌分析・ 省エネ診断の徹底
- 海外グループ法人の従業員の 幹部登用の推進

ESG取り組み

- (E)既存製品の効率化および新燃料対応
- (S)ダイバーシティを踏まえた人事制度改革
- (G)各部門・会議体でモニタリング機能の強化
- 環境負荷低減製品の開発
- 執行のスピード化を図る目的で 会議体を刷新
- 事業戦略に関するKPIの設定

基本戦略	
トータルソリューションの進化	工場ユーティリティのオールミウラ化 + 省エネ・CO2削減提案
ワンストップ・メンテナンスの実現	ボイラ製品以外の保守契約の充実 + 他社整備データの活用
人財基盤強化	研修体系や人事考課・処遇、人財配置や登用ほか、人事制度の見直し および専門性の高いフィールドエンジニア(FE)の育成

さらなる成長に必要な事業領域の拡充と新事業展開の加速



DXをベースに基本戦略とサポート戦略の付加価値を拡大



当社は、スーパーメンテナンス会社(信頼関係をベースにひとつでも多くの商品を通してお客様と持続的に繋がり続ける会社)をありたい姿と位置づけ、ミウラグループー丸となってさまざまな取り組みを行っています。以前から取り組んでいるトータルソリューション提案活動は、工場ユーティリティのオールミウラ化を目標とし、生産加工機器も含めた大型の工事も受注を積極的に行い、省エネ・CO2削減提案により差別化することで、さらに進化しています。また、ワンストップ・メンテナンスもトータルソリューションの進化により実現に向けて進んでおり、実績は少ない状況ですが一歩一歩前進

しています。基本戦略の拡充・拡大をサポートするために、 工場ユーティリティのオールミウラ化に必要な事業の資本 提携や業務提携を行い、かつ他社からの技術移転や他社と の研究開発を積極的に行い、独力では困難な事業展開や技 術開発を加速しています。基本戦略やサポート戦略について は、制度疲労を起こしつつある既存の業務プロセスやシステムでは効率良く効果が発揮できないことからDXによる改革 を進めています。また、2021年度より基幹システムの再構 築やIoT基盤システムの強化に本格的に取り組み、2022年 度はDXによる成長戦略のあらたな幕開けとなりました。

21 22